

つながるね 私たちの未来 北陸新幹線 敦賀までの着工決定

6月29日、北陸新幹線 敦賀までの県内着工が決定しました。敦賀市はその立地特性を背景に、古くから交通の要衝として発展してきました。国内外の各地域をつなぐ交流拠点都市を目指している本市にとって、北陸新幹線は今後の本市の発展を左右する広域交通網の一つです。

また、災害に強い国土構造が求められる中、東京-大阪間を日本海側でつなぎ、地方重視の国土軸を形成する国家プロジェクトでもあります。

北陸新幹線が本市に整備されると、新快速、普通電車、新幹線の車両、全てが敦賀駅に停まることになるね。舞鶴・若狭自動車道や、フェリー、RO-RO 船、国際物流ターミナルの整備など、まさしく敦賀は国内外のゲートウェイとして活躍するよ。



北陸新幹線 (敦賀付近) の概要

- 新北陸トンネル (南越前-敦賀間) 20.0km
- 最高速度 260km/h
- 敦賀区間延長 11.9km (うちトンネル 9.9km)

日本海側
北陸新幹線

新潟 上越 (仮称) 長野 高崎 富山 金沢 福井 敦賀 名古屋 大阪 東京

出典 整備新幹線の工事実施計画書 (H24.6 国土交通省)

太平洋側
東海道新幹線

日帰り圏が拡大！

新幹線駅が開業すると、北関東・北信越へは断然速くなるよ。現在、軽井沢へはおよそ4時間程度かかっているけど、2時間程度で行けるようになるんだ。現地での滞在時間が延びて日帰り旅行も楽しくなるね。

また、北陸新幹線での東京-敦賀間は、今より少し時間がかかるけど、乗り換えなしでゆったり旅ができるよ。東海道新幹線と北陸新幹線を選択することが可能になるね。



現在、整備が進められている敦賀駅舎 (交流施設) の完成イメージ。新幹線駅はこの東側に建設予定。

新幹線の整備概要

新幹線駅は現駅の東側に併設される予定です。ルートや駅部の正確な位置や高さは、設計協議や構造物設計が終わると明らかになります。

また、整備については、敦賀市側からの同時着工を要望していきます。

北陸本線(並行在来線)は地域鉄道として存続

北陸本線の県内区間は、新幹線開業後、JRから経営分離されます。

現在の特急が優先するダイヤを、生活者優先のダイヤに編成し、利用者の利便性を高め、安定的な運行ができるよう県や沿線市町、関連機関と連携して通勤や通学に欠かせない地域鉄道として、存続を図っていきます。

鉄道工事の進め方

	地元説明会	最初に、地区ごとに事業の説明会を開いて、測量などの立入りについてのご協力をお願いします。
	中心線測量	中心杭打ち、縦横断測量を行います。また工事に必要な地質調査も行います。
	設計協議	構造物の概略設計を行うとともに必要な用地幅の検討を行います。これを基にし鉄道と交差する川や道路の占用等について、国や自治体等の関係箇所と協議をします。
	構造物設計	設計協議終了後、構造物の設計を行います。
	用地幅杭建植	事業に必要な土地の範囲を明らかにするため、用地の幅を示す杭を建植した上で、用地測量を行います。
	用地協議・取得	用地補償は適正な補償が行われるように国の補償基準等に基づいて行います。
	工事発注	これまでの施工実績を反映した適切な工事費で工事が発注されます。
	工事説明会	具体的な工事の進め方について説明を行います。
	工事監理	工事が円滑かつ経済的に進むよう技術指導、安全、工程、予算、品質の監理が行われます。
	工事完成	工事が完了すると、必要な検査、実車走行試験を含む諸試験が実施され開業となります。

